

自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに
JAしもつけは総合事業を展開します。

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
2. 協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
3. 「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、日本の食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

主な取り組みは次のとおりです。

1. 担い手のレベルアップ対策と新たな担い手の育成

担い手への訪問活動等により経営意向やニーズを把握し、個々の経営課題に応じた栽培技術指導や補助事業の獲得・導入、規模拡大・経営合理化にかかる資金ニーズへの対応などにより担い手経営体の増加に取り組みます。

2. マーケットインに基づく生産・販売事業方式への確立

- 買取米（主食用米・加工用米）への的確な作付け誘導により集荷数量増に取り組めます。
- 市場集約や市場特性を考慮した流通の合理化・高度化により青果物の有利販売に取り組めます。
- 直売所を生産者と消費者を結ぶ交流拠点として位置づけ、直売所を起点とした消費者ニーズの把握、売れる農産物の生産・販売の拡大に努めます。

3. 生産トータルコスト低減

- 作業の合理化による生産性の向上、栽培管理の高度化による品質の向上を目的としてICT化普及に取り組めます。
- 省力化・低コスト栽培技術の普及拡大や生産資材の大口利用値引きの充実により、担い手個々の生産コスト圧縮に取り組めます。

4. 消費者の信頼にこたえる食の安全・安心対策

J Aが販売する農産物については、使用農薬基準を順守するとともに、計画的な残留農薬検査を実施します。また生産者の生産履歴記帳・提出の徹底により安全・安心を確認します。

5. 自己改革を支える経営基盤の確立

当J Aでは引き続き総合事業を継続し、各事業の連携により、組合員や地域の皆様のための自己改革を支えていくJ A経営基盤を確立していきます。

以 上